

report 2014

取り組み報告書

～未来のために、子どもたちのために～



スマイルな育児を。
アカちゃんホンポ



はじめに

赤ちゃん本舗は、お客様をはじめ、地域社会や従業員から信頼される誠実な企業を目指しています。常にお客様の立場に立って、商品開発や店舗環境づくりに取り組んでいます。安全・安心な商品をご提供するための厳しい社内基準を設けた品質管理体制を維持し、より安全で快適な店舗にするための環境を整え、さらに進化を続けています。また、事業特性を活かした子育てを総合的に支援するための情報の提供や、イベントなどの「コト」の提供も積極的に行っています。子育てを応援するイベントの全店実施や、施設とも連携したイベントなど、さらに充実した「コト」提案を目指しています。従業員に向けては、魅力ある職場にするために、やりがいの持てる制度をつくり、活用されました。地域社会や国際社会に対しても、環境問題への取り組み、地域社会との共生、社会貢献活動にも力を入れています。

目次

お客様に向けて 3

●安全・安心な商品とサービスの提供

- ①商品や取引の法令を遵守する体制
- ②お客様の期待に応えるサービス向上
ーTOPIX「スマイル育児アドバイザー」
「アカチャンホンポに聞いてみよ～子育てグッズのQ&A～」
- ③安全で快適な店舗設備
- ④キッズデザイン賞の受賞
- ⑤子育て社員の声を活かす社内SNSや
ママコミュニティの活動

●子育て支援活動

- ①マタニティスクール
- ②ブレババナイトツアー
- ③その他の子育て支援イベント
ーTOPIX「グランツリー武蔵小杉店の取り組み」

従業員に向けて 6

●働きがいのある職場づくり

- ①多様な人材の活用
- ②多様な働き方を認め、やりがいの持てる制度づくり
- ③能力向上支援

社会への貢献 7

●環境負荷の低減

- ①CO₂削減の取り組み-エコ割引-
- ②節電
- ③リサイクル・リユース

●地域社会との共生

- ①地域の子育て支援活動
- ②地域との連携

●社会貢献活動

- ①ホワイトリボン運動

お客様に向けて



●安全・安心な商品とサービスの提供

①商品や取引に関する法令を遵守する体制

【商品の品質】

アカチャンホンポでは、安全・安心な商品をお届けするために、法令や業界基準をもとに、独自の品質基準を設けています。たとえば、繊維製品については、「アカチャンホンポ子供服安全基準」や、JIS規格「子供用衣料の安全性」をもとに、フードや引き紐といった安全性に関わる項目を設定するなど、管理を強化しています。その管理については、公的検査機関による生地や製品に対しての品質検査データを「見える化」し、商品部門、品質管理部門、お取引先、工場がリアルタイムで情報共有できる「アカチャンホンポQCweb」というインターネットシステムを、業界に先駆けて開発し運用しています。さらに、定期的にお取引先と「品質改善会議」を開催し、現状の問題点を参加者が話し合うことにより、品質管理意識の維持向上を目指しています。会議では、実際に起きた事例を展示して共有するなど、再発防止と未然に防ぐ取り組みも実施しています。



お取引先との
品質改善会議の様子



↑ 公的検査機関で当社商品の試験を実施しています。



再発・未然防止の
ための展示

【お客様への約束】

商品の表示、店頭のPOPはお客様が商品を選択する際の重要な情報です。「お客様に信頼される誠実な企業」であるために、関連法令を守り、お客様の誤解を招かないよう、正確でわかりやすい表示を心掛けています。例えば、FT（フェアトレード）室を設け、全店舗の店頭表示状況の確認や、売場での教育を行う「FTラウンド」を実施しています。この店頭表示チェックでは、実態を客観的な数値で評価し、その結果をもとに店長や副店長と改善に向けた具体的な対策を講じています。また、表示に関する注意点をまとめた「FT週間情報」を各店舗に配信し、全従業員と最新の情報を共有しています。DMチラシ、カタログ、パンフレットなどの各種広告媒体についても、記載されている商品情報や価格情報が正確であるか、お客様の誤解を招く情報が載っていないかなどを事前にチェックしています。

【お取引先への約束】

公正な取引の徹底は、事業活動の大前提であり、お取引先に対する責務と考えています。「お取引先に信頼される誠実な企業」であるために、FT委員会の設置などの体制を整備するとともに、社員教育の充実を図っています。公正な取引に関する社員教育の実施や「商談メモ」などを用いた取引内容の記録を指導し、優越的地位の濫用や下請法違反といった法令違反や反社会的な行為を防止しています。

②お客様の期待に応えるサービス向上

「年中無休、無料通話ダイヤルのお客様相談窓口」（受付時間9時00分～17時30分）を設けて、お客様からのご要望、ご意見、お問合わせなどを承り、迅速かつ誠実に対応しています。さらに、これらお客様の声を関係各部署で共有し、改善を図っています。また、システムの導入により、お客様相談窓口と、関係各部署、店舗との連携が強化され、お客様からのお申し出に迅速な対応を行い、お客様の声を適切に経営に反映するために、いただいた声をデータベース化し、蓄積する仕組みを構築しています。また、「フレンドリー通信」を毎週店舗スタッフへメールで配信し、いただいたお声に基づいた今週取り組みべき内容を共有することで接客向上に努めています。

TOPIX

★スマイル育児アドバイザー

2014年11月にオープンしたグランツリー武蔵小杉店に、「スマイル育児アドバイザー」を導入しました。お客様のご要望に合わせたトータルなお買物アドバイスはもちろん、アドバイザー専用タブレット端末を使い、よりスムーズなお買物をサポートします。今後もこのようなお客様一人ひとりに合ったサービスを進化させていきます。



★アカチャンホンポに聞いてみよ～子育てグッズのQ&A～

2015年2月に、オフィシャルサイトに開設された子育てグッズのQ&Aサイトです。妊娠・出産・子育てに関する商品の疑問を解決したいという想いで立ち上げました。「よくあるご質問」の中から知りたいことを検索していただいたり、解決しない場合は、メールでお問い合わせいただくことができます。アカチャンホンポのスタッフがお客様の疑問にお答えします。

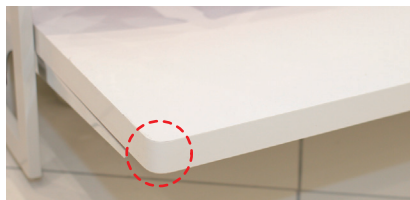


お客様に向けて



③安全で快適な店舗設備

安全で快適な売場作りを目指し、店舗におけるさまざまな工夫をしています。商品を並べる棚の角を丸くしたり、陳列用の飛び出したフックの先端をガードするためにセーフティプライスカードを使用するなど、お店に来られる小さなお子さまのことを考えた作りを心がけています。また、従業員の使うハサミやカッターナイフ、ホッチキスの使用を厳しく管理して、より安全な店舗環境となるよう配慮しています。快適なお買物環境のご提供として、2012年に始まったタブレット端末を使用した新しいお買物スタイルをセレオ八王子店へ導入しました。2013年にオープンした「ららぽーとTOKYO-BAY店」、2014年には「グランツリー武蔵小杉店」「西武大津店」へ、また、2015年2月には既存店の「東戸塚西武店」へも導入しました。快適でスマートなお買物をサポートしています。



【商品陳列棚】

棚の角を丸く加工し、当たっても怪我をしないように工夫を施しています。(一部の棚を除く)



【セーフティプライスカードホルダー】

フックの先端をプライスカードホルダーを使ってガードしています。



【通路幅の確保】

ベビーカーでのお買物をより快適にするために通路幅をゆとり確保しています。



【スマートショッピングコーナー】

売場で見たい商品や売場に展示していない商品を専用端末でご注文いただき、翌日お届けします。荷物を持たず、スマートにお買物をいただくことができます。(ららぽーとTOKYO-BAY店)

④キッズデザイン賞の受賞

2014年7月、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催の第8回キッズデザイン賞を2部門でアカチャンホンポオリジナル商品「エクストラUVベビーローション ナインフリー」と「シリコンおかゆ調理器 お釜ジャー」が受賞しました。さらに、「シリコンおかゆ調理器 お釜ジャー」は、奨励賞キッズデザイン協議会会長賞も受賞しました。

～子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門～
「エクストラUVベビーローション ナインフリー」

～子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門～
「シリコンおかゆ調理器 お釜ジャー」



キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。

【エクストラUVベビーローション ナインフリー】

ママが気になる9つの成分を含まないUVローションです。アカチャンホンポモバイルサイトでのUVケア商品に関するアンケート回答者のうち、78%が「UVケア商品を購入する際に一番重視するのは、成分や効果」と回答しました。

具体的には「紫外線吸収剤」「香料」が配合されていない商品を求める声が多く挙がったことを受けて、それらの成分をはじめとする、ママが気になる9つの成分を含まないUVローションを開発しました。

9つの成分とは、界面活性剤・紫外線吸収剤・エタノール・パラベン・カルボマー・着色料・香料・鉱物油・フェノキシエタノールのことです。白浮き・白残りしにくく、石けんで落とせるので、毎日の紫外線ケアに使いやすく便利です。



【シリコンおかゆ調理器 お釜ジャー】

シリコン製なので割れることのない、お手入れしやすいおかゆ調理器です。

ご飯を炊く時、炊飯器と一緒に入れるだけでおかゆが作れます。冷凍保存や電子レンジ使用、食器洗い機使用に対応しています。調理後すぐに水にさらしておくこともでき、お米のこびりつきを軽減できるのでお手入れも簡単です。

炊飯器から取り出す時に便利なシリコン製のミニミニミトンと、お米を計量したり、すりつぶしたりできる計量スプーン付き。



⑤子育て社員の声を活かす社内SNSやママコミュニティの活動

妊娠・育児中の従業員約50人で構成された社内SNS「育アカチャンネル」で随時アンケートをとり、育児に関わる生の声を聞いたり、「ママコミュニティ」の活動として、社内ママたちの意見を聞く場を設けたり、モバイルサイトでのアンケートから、ママたちの声を商品開発や、よりよいお店づくりに取り入れています。



ママたちに集ってもらい発売前の商品について意見を聞いている様子

お客様に向けて



●子育て支援活動

① マタニティスクール

マタニティスクールは、ご夫婦で参加していただき、助産師を講師に招いての講義や沐浴実習、パパのマタニティ体験などを行うイベントです。初回の開催は1985年。当初から、パパにもご参加いただくことをおすすめしてきました。2012年には、記念すべき3,000回を迎えることができました。2014年は50店舗で約300回実施（2015年2月末時点の累計開催回数3,564回）。また公式サイトではマタニティスクールの内容のご案内をレポート形式でご紹介し、情報公開しています。

<http://www.akachan.jp/event/matarnityschool/index.html>



↑ マタニティスクールの様子 写真左から、助産師の講義、新生児の抱っこ体験、沐浴実習、マタニティ体験の様子

② プレパパナイトツアー

パパの育児を応援するイベント「プレパパナイトツアー」。パパが仕事のあとでも参加できる時間帯に、妊婦の身体の変化や妊娠から育児までの必要な商品について学ぶことができます。アカチャンホンポの従業員がそれぞれの担当の専門知識を生かし、店内を説明してまわるツアーです。2013年は52店舗で延べ365回の開催でしたが、2014年6月から、全店で毎週実施し、年間約3,000回開催しました（2015年2月末現在）。また、公式サイトでは、プレパパナイトツアーの内容のご案内をレポート形式で紹介しています。

<http://www.akachan.jp/event/prepapa/index.html>



※ツアー内容は一例です。

③ その他の子育て支援イベント

【アカチャンホンポ えほんの日】

お子さま向けイベントとして、アカチャンホンポのスタッフがえほんの読み聞かせを行うイベントです。読み聞かせを親子で楽しんでいただくことで、おうちでのコミュニケーションにもつなげてほしいという考えのもとで実施しています。店頭にて随時開催しています。（一部店舗を除く）



【1歳のおたんじょうび会】

1歳になったお子さまとご家族が集まり、はじめてのおたんじょうびをお祝いするイベントです。お子さまに選び取ってもらう将来占いや、一升餅に見立てた荷物を背負ってお祝いをします。事前予約制です（全店で実施）。2014年度開催数は約1,400回の実績。



【ベビーサイン体験教室】

ベビーサインとは、まだ言葉をうまく話せない赤ちゃん、手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションする育児法です。日本ベビーサイン協会認定講師による「ベビーサイン」の基本についてのお話を聞き、基礎的なジェスチャーを手遊びを通じて体験できます。2014年度は延べ466回開催しました。（一部店舗を除く）



TOPIX グランツリー武蔵小杉店の取り組み

2014年11月に神奈川県川崎市にオープンした「グランツリー武蔵小杉店」では、施設内の「スマイルスクエア」でさまざまなイベントを実施しています。「スマイルスクエア」とは、「グランツリー武蔵小杉」4Fの中心に位置するお子さまとご家族のための多目的スペースです。

開催するイベントは、通常のイベントに加えて、他社とのコラボイベントも導入。「子育てを学ぶ・楽しむ・地域密着型ママの学校」をコンセプトにした体験講座「ママガク」とコラボレーションし、バリエーション豊富にコンテンツをご用意しています。イベント内容は、2週間毎に店頭配布の「コトコミュ」の中で告知しています。（公式サイトでも店舗のイベントカレンダーを情報更新。）



ママガクさまとのコラボレーションイベント「ベビーダンス体験会」を「スマイルスクエア」で開催している様子



イベント内容の情報提供冊子「コトコミュ」

従業員に向けて



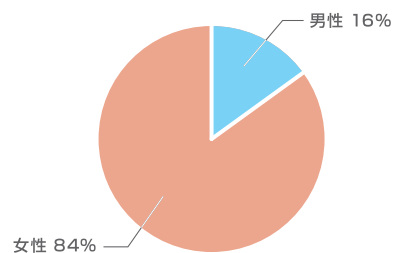
●働きがいのある職場づくり

①多様な人材の活用

【女性の活躍】

アカチャンホンポの正社員は約半数が女性であり、従業員全体では80%以上を女性が占めています。そこでさまざまな施策を通じて、女性の活躍を推進しています。その一環として、女性スタッフのみで運営する店舗を2012年4月から発足させました。また、女性の役職者は正社員全体の20%を占めており、年々増加し活躍しています。お客様も大半が女性であることから、女性ならではの視点での売場づくりや接客はもちろんのこと、マネジメントにおいても、女性同士だからこそ相談し合える職場風土となっています。

■従業員比率(正社員・パート含む)



【障がい者雇用について】

障がいのある方が活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。ハローワークからの紹介だけでなく、特別支援学校や就業・生活支援センターとも連携し、障がいの程度に応じて、配属先・業務内容・就業時間などを決定しています。一部では、入社される前の不安を和らげるために、職場体験を通じて様々な業務を経験してもらい、十分に能力が発揮できるよう職場への適応状況を把握し、必要に応じて環境改善や現場の責任者へ助言やサポートを行っています。また、業務を容易にするために、読書拡大機や大きなPCモニターを導入するなど、働く環境整備にも積極的に取り組んでいます。

②多様な働き方を認め、やりがいの持てる制度づくり

【公正な評価・処遇】

2011年9月から人事評価制度を一新しました。新たな人事評価制度では、自己評価と上司との面談が加わり、この面談を通じて、本人に評価結果を伝えるだけでなく、「良かった点」「今後さらに伸ばすべき点」「改善すべき点」などを互いに共有して、評価の透明性・公平性を確保するとともに、人材育成につなげることを目指しています。

【ワークライフバランスの実現に向けて】

2012年4月から人事制度を改定し、社員が自分のライフスタイルに合わせた働き方を選択できる社員群制度を導入しました。特に出産や子育て、介護などで仕事と家庭の両立が必要な場合には、転居を伴わない働き方が選択できる制度です。一方、全国に転勤可能でキャリアアップを目指す社員は、ナショナル社員を選択することができます。また、パート社員からの社員登用試験も毎年実施し、3年間で13名が正社員となりました。

【育児との両立を支援】

パート社員を含む全従業員が、働きながら育児できるように、育児支援制度を整備しています。特に出産・育児をサポートする企業として、法定水準を上回る処遇にしています。例えば、「慣らし保育」の期間をフォローするため、休業できる期間を1歳到達直後の5月15日まで延長し、育児短時間勤務は小学校4年生まで利用できる制度にしています(2015年度から、小学校6年生まで延長の予定)。2015年2月現在、正社員のうち、育児休業者は25名、育児短時間勤務者は60名で、これは正社員全体の9.5%を占めており、出産・育児を経験した多くの社員が職場復帰し活躍しています。2014年9月から、育児短時間勤務者を副店長に登用し、2015年2月現在、5名が副店長として勤務しています。今後、ロールモデルとしてさらに拡大していく予定です。2012年4月には、社員の出産祝金を改定し、最高30万円としました。新たに、子育て中の全従業員を対象に社員割引制度も導入し、子育てを支援しています。また、社内SNS「育アカチャンネル」では、育児をしながら働く仲間同士のつながりをサポートしています。



「育アカチャンネル」WEB画面

【立候補制度】

「一人称で仕事をする」という組織風土を構築するため、自らが挑戦したい職務に立候補できる制度を2013年度から開始しました。2014年度は504名の社員がやりたい職務に立候補しました。社員自らが能動的に挑戦していこうという強い意欲を持ち、その意欲と可能性を、人事政策と結び付けることでキャリアアップの機会をつくり、よりやりがいを持って働くことができる環境づくりが組織の活性化には不可欠であると考えています。

従業員に向けて



【パートリーダー制度】

働きがいのある職場構築に向けて、2013年9月から、「パートリーダー制度」がスタートしました。この「パートリーダー制度」は、パート社員の方から、教育ツールである「スキルアップ検定」にて、必要とされる商品や業務知識を審査し、また年2回の人事評価にて、日常業務において、継続して高い評価を受け続けている方が、次のステージへステップアップすることができる制度です。さらに、「パートリーダー職」に認定されれば、正社員・パート社員を問わず、より高い職務につくことも可能です。初回導入時には、56名のパート社員の方が「パートリーダー職」に認定されました。2015年2月現在、35名がカテゴリーの売場責任者（ストアリーダー）として活躍しています。この新たな制度を活用して、パート社員からも、自分の能力・意欲・リーダーシップを 職場で発揮してもらい、より働きがいがある職場作りにつなげていきます。



パートリーダー
認定式の様子



③能力向上支援

【人材育成について】

人材育成の一環として、各種研修を行っています。新入社員や新任管理職研修などの階層別集合研修だけでなく、現場での研修も重視しています。全従業員が対象の社内検定では、WEBテストや技能検定で業務の習得度を確認し、自らの成長度を振り返る機会となっています。自己啓発のための通信研修も実施。受講費用の一部を会社が補助することで、自らの学ぶ意欲をバックアップしています。また、パートリーダーを対象に、店舗の中核を担う業務が遂行できるよう研修を実施し、社員だけではなく幅広い人材に向けて能力向上の施策を行っていきます。



各種研修の様子



WEBを活用した社内検定の様子



新入社員集合研修の様子



新入社員レジ研修の様子

【社内啓発活動】

社内基準により、接客が評価されたスタッフを表彰する「スマイル・アワード」制度が2014年10月からはじまりました。「あいさつ」「お声かけ」の観点から項目ごとに評価し、その合計点が高かったスタッフを毎月選出します。選出されたスタッフにはスマイルシールが進呈され、それを6枚獲得すると「スマイル・アワード」を受賞し、スマイルピンバッジの進呈となります。2015年1月に初受賞者が1名誕生し、2月にはさらに6名が受賞しました。より質の高い接客をかなえるため、社内啓発活動を通して、スタッフのやる気を後押ししています。



社会への貢献



●環境負荷の低減

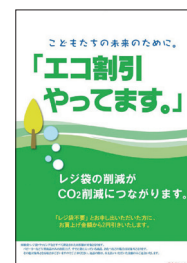
①CO₂削減の取り組み

【エコ割引の取り組み】

2009年6月から、CO₂削減の取り組みの一つとして、500円以上お買い上げいただいた方を対象とし、レジ袋はいりませんとお申し出いただいた場合、2円値引きする「エコ割引」を実施してきました。2013年2月に、「500円以上」という制限を撤廃し、お買い上げ金額にかかわらず、紙袋、レジ袋、ラッピングなど全て辞退されたお客様に「エコ割引」をご利用いただけるようになりました。これにより、レジ袋辞退率は飛躍的にアップしています。レジにはPOPとレジ袋不要カードを設置し、利用促進を図っています。



レジ袋不要の
提示カード



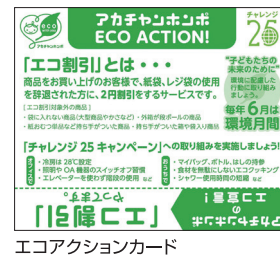
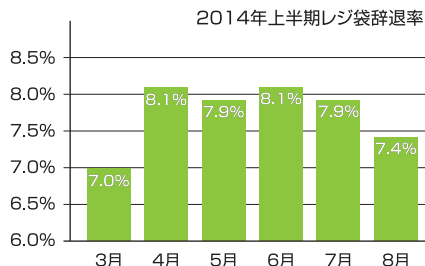
店頭ポスター

社会への貢献



【「アカチャンホンポECO ACTION」の取り組み】

2014年6月に環境月間の取り組みとして、6/2(月)～6/15(日)の間、「アカチャンホンポECO ACTION」を実施しました。従業員全員のネームホルダーに「エコ割引」POPを挿入し、お客様へこの取り組みをアピールしました。レジでのお声かけを強化するため、裏面には、「エコ割引」を再認識するための説明や、店舗や個人のエコの取り組みにつながる例などを盛り込みました。実施期間中のレジ袋辞退率は、前月から0.2%上昇しました。



環境省が推進している低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。「Fun to Share」とは、「最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会を作っていこうよ!」という合い言葉です。赤ちゃん本舗は「レジ袋削減で、低炭素社会へ。」を宣言しています。

②節電

【節電実績】

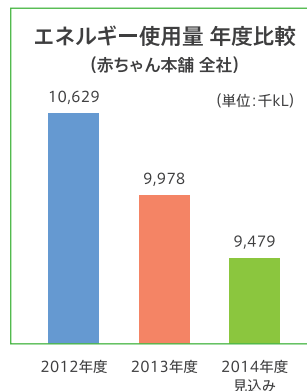
東日本大震災以降、節電施策の強化、CO₂排出量の削減を目標に掲げ取り組んでいます。

2012年6月以降、新店舗および既存26店舗の基本照明をLED化しました。2013年度の実績に対し、2014年度は全店ベースで9%、LED導入店舗では平均60%の電灯電力使用量を削減できる見込みです。

また全社のエネルギー使用量については、2012年度実績に対し、2013年度で7%削減、2013年度の実績に対し、2014年度で5%削減しました。



LED照明



③リサイクル・リユース

【リサイクル】

店舗で使用する什器類において、一部をリサイクル可能な材質のものに変更しています。



【組布団展示用什器】

壁面上部の展示用什器を従来の木製から段ボール製に変更(2012年の新店から)。一部古紙を使用しており、使用後はリサイクル可能で焼却もできます。



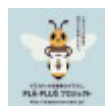
【シューズ展示用底上げ器具】

アクリル製から段ボール製に変更(2012年の新店から)。原料は牛乳パックを使用しており、使用後はリサイクル可能で焼却もできます。

【リユース】

店舗が閉店する際、什器や備品などをリメイク業者に引き渡し、新しい店舗やリニューアルする店舗へ積極的に再利用しています。

TOPIX PLA-PLUSプロジェクトの取り組み



環境省と日本環境設計が進める「PLA-PLUSプロジェクト」にセブン&アイグループとして参加しています。店頭で不要になったプラスチック製品を回収し、それをリサイクルする活動です。アカチャンホンポでは、幕張イトーヨーカドー店、グランツリー武蔵小杉店の2店舗で、2015年2月に期間限定で実施しました。

社会への貢献



●地域社会との共生

①地域の子育て支援活動

都道府県や市町村が取り組んでいる子育て応援事業への登録を実施しています。「子育てにやさしい店」として、おむつ替えスペースや授乳スペース、ミルクのお湯提供など地域の皆さまにご利用いただきやすい売場環境を整えています。

2015年2月現在、登録しているのは20都道府県9市区町村で、参加店舗数は58店舗です。

都道府県	登録事業	市町村	登録事業
北海道	北海道赤ちゃんのほっとステーション	旭川市	旭川市ごんには赤ちゃんステーション
青森県	あおもり子育て応援わくわく店	青森市	授乳室設置一覧に掲載
群馬県	ぐ〜ちょきバスポート	宇都宮市	赤ちゃんの駅
埼玉県	ババママ応援ショップ	春日部市	赤ちゃんの駅(春日部版)
千葉県	子育て応援チーパスネット	板橋区	赤ちゃんの駅
東京都	赤ちゃん・ふらっと事業	横浜市	ハマハグ
石川県	赤ちゃんの駅(プレミアムバスポート事業)	岐阜市	ぴよか
長野県	ながの子育て家庭優待バスポート	高槻市	赤ちゃんの駅
岐阜県	ぎふっこカード	飯塚市	赤ちゃんの駅
静岡県	しずおか子育て優待カード		
愛知県	はぐみんカード		
滋賀県	淡海子育て応援団		
京都府	きょうと子育て応援バスポート		
大阪府	まいど子どもカード		
兵庫県	ひょうご子育て応援の店		
奈良県	なら子育て応援団		
広島県	子育て応援 イクちゃん		
愛媛県	えひめのびのび子育て応援隊		
福岡県	子育て応援の店		
佐賀県	子育て応援の店		



「板橋区 赤ちゃんの駅」



「埼玉県 赤ちゃんの駅」
子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的としています。



「福岡県 子育て応援の店」



「兵庫県 ひょうご子育て応援の店」

②地域との連携

【子ども110番】

アカチャンホンポでは、一部の店舗において「子ども110番」活動を実施しています。

これは、子どもが助けを求め駆け込んできたときに、その子どもを保護し、110番通報などの対応をいち早く行い、地域ぐるみで子どもの安全を守る取り組みです。



高崎店



仙台泉店



長岡店



若葉店

【災害時物資供給協定】

災害時における緊急事態で必要とされる物資を要請があれば供給するという協定を1県6市と締結しています。

社会への貢献



●社会貢献活動

① ホワイトリボン運動

【ホワイトリボン運動の応援】

2009年5月から、国際協力NGOジョイセフが推進している「ホワイトリボン運動」の趣旨に賛同し、店頭で募金箱を設置するなどの活動を実施してきました。アカチャンホンポは、世界中のママと赤ちゃんの命を守る、ホワイトリボン運動を応援しています。

【赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう!】

2010年4月から、お客さまの不要になった赤ちゃんの肌着・ウェアをお預かりし、それをザンビアに届ける活動を実施してきました。開始当初は数店舗のみで実施していましたが、2011年11月には全店で実施(受付期間は限定)。2012年8月以降は、20店舗での継続的な活動を始めました。2013年7月からは店舗数を25店舗に拡大しました。2014年1月から同様の店舗で受付を継続し、10月には、「赤ちゃんの日」キャンペーンとして期間限定で全店実施を行いました。2014年12月で活動を一旦終了しています。赤ちゃんの肌着・ウェアは、妊産婦・乳幼児健診の巡回活動などで配布したり、妊婦さんの安全なお産を守るため、ジョイセフによって建設されたマタニティ待機ハウスの利用促進にも活用されています。

- ▶ **第1弾** 2010年4月15日～5月7日(1店舗)
- ▶ **第2弾** 2010年6月21日～7月4日(9店舗)
※約2,000枚の肌着・ウェアが集まりました。
- ▶ **第3弾** 2011年3月実施を中止※東日本大震災の対応のため
- ▶ **第4弾** 2011年7月1日～7月14日(49店舗)
- ▶ **第5弾** 2011年11月17日～11月30日(全店)※一部店舗除く
※約45,000枚の肌着・ウェアが集まりました。
- ▶ **第6弾** 2012年7月18日～7月31日(全店)※一部店舗除く
- ▶ **継続回収** 2012年8月1日～12月31日(20店舗)
※約18,000枚の肌着・ウェアが集まりました。
- ▶ **継続回収** 2013年1月1日～6月30日(20店舗)
- ▶ **継続回収** 2013年7月1日～12月31日(25店舗)
※約18,500枚の肌着・ウェアが集まりました。
- ▶ **継続回収** 2014年1月1日～6月30日(25店舗)
- ▶ **継続回収** 2014年7月1日～12月31日(25店舗)
※約42,000枚の肌着・ウェアが集まりました。

お預かり開始から2014年12月までの累計で12万6千枚となりました。



White Ribbon
世界中の妊産婦を守る
©JOICFP



ジョイセフ
JOICFP
途上国の妊産婦と女性を守る

ホワイトリボン運動とは、国際協力NGOジョイセフが推進している、世界中の妊産婦と赤ちゃんの命を守る運動です。
国際協力NGOジョイセフのホームページ <http://www.joicfp.or.jp/>



ザンビアで肌着を配布する様子



エコプロダクツ2014にて、セブン&アイ・ホールディングス展示ブース内で肌着の活動が紹介されました。

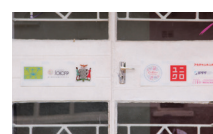
【アフリカ・ザンビアにマタニティハウスを贈ろうプロジェクト】

2012年5月から、「アフリカ・ザンビアにマタニティハウスを贈ろうプロジェクト」の取り組みを開始。店頭やインターネットでの募金受付やチャリティワークショップを開催するなどの活動をしてきました。また2012年9月には全国52か所にホワイトリボン支援自動販売機を設置しました。2014年4月で55台になりました。この自動販売機でのお買い上げ1本につき2円がこのプロジェクトへ寄付されます。

アフリカ・ザンビアでは自宅から保健施設(病院)がとても遠く、いざ陣痛が来ても、お産に間に合わないママたちがいます。結果として自宅での不衛生な環境で出産し、緊急時の対応が遅れ、命を落としてしまうケースが多発しています。マタニティハウス(出産待機施設)があれば救える命があります。アカチャンホンポは、「アフリカ・ザンビアにマタニティハウスを贈ろうプロジェクト」として、国際協力NGOジョイセフとのパートナーシップのもとこの活動を応援しています。世界中のママが幸せに出産し、健やかに赤ちゃんが育ちますように。「世界 みんなでハッピー出産。」を合言葉に、プロジェクトを行っています。



2013年に完成したタニティハウス第2号。アカチャンホンポで集まった募金も建設費用の一部として役立てられました。まだ今後も必要とされる地域での建設や施設の維持などの活動に協力していきます。



2012年5月～2015年2月末までに 店頭・インターネットでお預かりした募金金額	1,088,050円
2012年9月～2015年2月末までに ホワイトリボン支援自動販売機で集まった金額	1,640,237円

A decorative graphic featuring several overlapping circles in yellow, pink, and blue. To the right of the circles is a small, stylized red bird with its wings spread.

～未来のために、子どもたちのために～

株式会社 赤ちゃん本舗「取り組み報告書2014」 2015年3月31日

アカチャンホンポのホームページ内「未来のために」では、取り組みについて、内容を随時更新して掲載しています。
<http://www.akachan.jp/csr/index.html>